家庭園芸

ご相談は 園芸センター(☎86―1034)へ。月曜日は休園です。(月曜が祝日のときは火曜日休園)

“落ち葉の利用”

秋も深まり、樹木は葉を落としています。庭に積った落ち葉を集めて落ち葉焼きと、いかにも風情があるようですが、もったいないことです。堆積して堆肥(フヨウ土)作りに努めましょう。山野から集めてくるのもよいと思います。

野菜作りでよく経験することですが、堆肥を入れた場合と入れない場合では、作物の出来が格段に違ってきます。また、鉢ものには、用土によくフヨウ土が使われます。

堆肥類は有機質肥料として取り扱われがちですが、元来、肥料成分はわずかで、肥料としてよりも土壌の改良剤と見なされます。植物が育つ土としては、通気性が良く、排水性が良く、保肥力があることが大切で、堆肥の十分入った土は、よくこの性質を満たしてくれます。そのほかに、いろいろの有益な性質があり、植物を育てるうえで、大切な材料です。

堆肥には、昔からイナワラが使われていましたが、一般には入手が難しいと思いますので、落ち葉などは無駄なく、堆積、腐敗させて有効に使ってゆきましょう。

流通センター会館がオープン

～民間側の第一期工事も竣工～

官民出資の第三セクター・㈱新潟流通センターが新潟流通センター内に建設を進めていた「流通センター会館」(流通センター三丁目三番地四)が完成し、さる十一月一日オープンしました。

会館は鉄筋コンクリート造り二階建てで、延べ床面積は約二千百平方㍍。同社のほか、テナントとして卸事業協同組合、運送事業協同組合、銀行二行、簡易郵便局、食堂・喫茶二社、理容所、ビル清掃会社二社が入居し、歯科診療所も来春には開業の予定です。また、会議、講習会、展示会等に市民も利用できる賃貸用の大・中・小会議室、和室も設けられています。

㈱新潟流通センターは、流通センターの管理運営を行うとともに、同センター内の流通関連情報の収集処理や提供、さらには経営相談を行う―などの事業目的で昭和五十五年九月、第三セクターとして設立され、今年の三月から公益的施設としての会館の建設にあたっていました。

なお、同社を含めた流通センターへの初年度進出企業二十社の営業開始は十五日ですべて足並みもそろい、同日からはバスセンター～流通センター会館間に路線バスも運行開始されました。

完成、オープンした流通センター会館全景

国際交流2題

中国二省から貿易代表団

―清津航路開設準備調査で―

清津(朝鮮民主主義人民共和国)を経由する日中貿易航路に新潟港を加えようという動きが強まっている中、中国黒龍江省と吉林省の代表団一行八人が、同航路の開設準備調査のため、さる十一月四日新潟を訪れました。

来港したのは、黒龍江省対外貿易局代表団(団長・呉国卿＝同省対外貿易局副局長)四人と吉林省訪日運輸代表団(団長・劉蔭軒＝同省対外貿易局副局長)四人の計八人。

一行は四日午後一時半、新潟空港に到着後、臨港ふ頭を視察。翌五日には市役所を表敬訪問し、若杉助役らと歓談しました。

席上、この清津―日本航路の指定港問題にふれ、市側が「ぜひ新潟を指定港にして頂きたい」と要請したのに答えて、中国側は「新潟港は立派な港。省としても強く推したい」と述べました。

表敬訪問後、一行は西港と東港を精力的に見て回りました。

また、翌六日には、市、県、商工会議所、県日中友好協会、日本国際貿易促進協会の五者と懇談会をもち、「清津航路の試験就航を来年一―二月に開始する方針。日本の寄港地として、太平洋岸の四港(横浜、大阪、神戸、門司)を指定しているが、さらに新潟を含む日本海側の一～二港を指定追加するように、海運会社などとの間で交渉を進めている」―などと述べ同航路の計画概要や新潟寄港の有望性を説明しました。

中国側代表団は六日午後新潟を離れ次の目的地に向いました。

市役所を表敬訪問した中国側代表団一行(中央より左)

アメリカから民間使節

～友情と相互理解深め合う～

こちらはアメリカからの民間使節の来港。―外国への渡航と外国人の受け入れを相互に行う国際的ボランティア組織『フレンドシップ・フォース』の第五回交換で、アメリカ・アイオワ州から民間使節三十八人が十一月七日新潟を訪れました。

一行を受け入れたのは『フレンドシップ・フォース新潟』(伊藤文吉会長)。

一行は七日、大宮から新幹線試乗車で新潟入り。夜には新潟国際友好会館で歓迎レセプションを受けたのち、今回受け入れ家庭となった新潟市内をはじめとする七市町村内二十四家庭の会員と対面。以後十三日まで日本での家庭生活を楽しみ、友情を深めました。

『フレンドシップ・フォース』は、一九七七年、カーター米大統領(当時)の提唱で「一つの国の人が他の国の人と出会い、短期間生活を共にすることで相互の理解と文化に対する知識を得、友好を深めること」を目的に設立されました。現在、日本を含む二十七カ国に本部があります。新潟でも日本と世界の友情を交換し相互の理解を深めようと、九月に設立されました。

市税とその使いみち

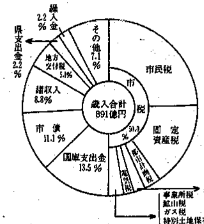
今回は皆さんから納められた市税がどのように使われているかをテーマにしました。

まず、市税が市の歳入のうちどれくらいの割合を占めているかを昭和五十七年度一般会計当初予算額でみてみましょう。図表Iのとおり、市税は全体の五〇・〇%を占め、市の最も重要な財源になっているのがわかります。さらに市税の内訳をみると、市民税と固定資産税とで市税の大半を占め(八〇・五%)、市の行政活動を支えています。その他に、都市計画税、市たばこ消費税、電気税などの市税があります。

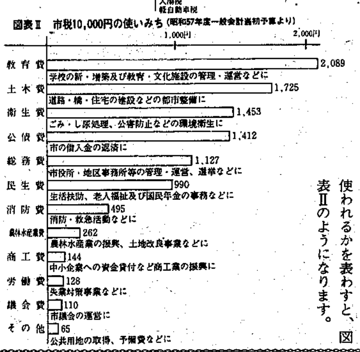
それでは、納められた市税はどのように使われているでしょう。市税は国庫支出金や市債など他の収入と合わせて、学校の新・増設などに充てる教育費、道路や橋の建設などの土木事業に充てる土木費、清掃・公害防止などに充てる衛生費、消防・その他の救急活動のための消防費など、さまざまな市の行政分野の費用に充てられています。

今、仮に、一〇、〇〇〇円の市税がどのような費用に使われるかを表わすと、図表IIのようになります。

図表I　昭和57年度一般会計歳入当初予算額



図表II　市税10,000円の使いみち(昭和57年度一般会計当初予算より)



青年の家利用グループ会員募集

	サークル名	活動日時	会費	連絡先
成人	駒美会(和紙の人形作り)	毎週月曜日午前九時半～午後一時	(月)三百円	三浦千代子 ☎86―八三一八
青年グループ	栄ダンス同好会	毎週午後七時～九時 (月)…福祉センター (木)…青年の家	(月)二千円	佐々木 ☎75―二八七六
青年グループ	劇団無形舎	週二～三日。うち金曜日は青年の家で	(月)千円	早津博美 ☎47―二五五八

家庭でできる3分間体操㊱

新潟大学教育学部音楽科

第1回定期演奏会

日時　11月28日午後2時開演
会場　音楽文化会館(入場無料)
曲目　ハイドン：交響曲「ロンドン」ほか

新潟コールアカデミー

第19回定期演奏会

日時　11月24日午後6時半開演
会場　音楽文化会館
曲目　ブルックナー：「ミサ曲ホ短調」ほか(指揮　久住和麿)
入場料　500円　※名曲堂、大和新潟店、新潟三越で取り扱い。
問い合わせ　桑野(☎71―9604)へ

住宅金融公庫個人住宅建設資金

申し込みは11月30日まで

問い合わせ　公庫業務取扱金融機関へ

駒子の紙人形講習会

日時　11月29日～12月20日の間毎週月曜日午前9時半～午後零時半
会場　市青年の家　**定員**　20人
費用　1体600円(材料費)
講師　石月美根
申し込み　25日までに、電話で三浦千代子(☎86―8318)へ

第2回

「性を考える会」

日時　11月27日午後3時半～6時
会場　持田製薬新潟出張所(ユタカビル3階、堀ノ内324)
参加費　会員は無料、入会希望者は当日年会費1,000円徴収
演題　竹内正七新大医学部教授“性の概論”　上原徹新大泌尿器科助手“男性の性”　尾組芳雄小学校校長“学校での性教育の経験”

手芸教室

対象　60歳以上の人
定員　各会場20人(先着順)
費用　材料費1回1,000円程度
内容　第1回…ビーズのコサージュ　第2回…帽子の壁掛け　第3回…軍手人形　第4回…日本人形　第5回…ぼんさい　第6回…スリッパ　第7回…毛糸の犬　第8回…モール手芸(梅)―計8回コース
申し込み　11月27日までに、電話で市老人福祉課(☎28―1000　内線489)へ

〈老人憩いの家　中山荘会場〉
日時　12月～3月毎月第2・4土曜日午前9時半～11時半

〈老人憩いの家　大形荘会場〉
日時　12月～3月毎月第1・4金曜日午後2時～4時

初心者のための

社交ダンス(マンボ・ジルバ)講習会

・忘年会、X'マスに楽しく踊ってみませんか!!
日時　Aコース…11月30日、12月7日午後1時半～3時半　Bコース…11月27日、12月4日午後7時～8時半　※軽装で
会場　鳥屋野地区公民館
定員　各50人(先着順)　**会費**　500円
申し込み　直接、または電話で鳥屋野地区公民館(☎85―2371)へ

花積正夫が語る〈非行講座〉

「非行少年について」

日時　11月24日午後7時～
会場　有明福祉会館2階会議室
問い合わせ　志賀(☎33―0162)へ